

お知らせ

大変遅れましたが、水産資源管理談話会報 33 号をお届けします。本号は、平成 14 年 12 月 6 日に開催された第 42 回談話会の記録です。話題提供は松田裕之氏による「保全生態学から見た現在の我が国の ABC 算定ルールの問題点と改善方向」、および桜本和美氏による「環境変動を考慮した ABC 算定の可能性」です。我が国が TAC 制を導入して 6 年経過し、ABC 算定の経験に基づいて活発な討議が行われました。特に、変動する環境下における ABC の算定が問題になりました。なお、参考資料として「ABC 算定のための資源管理基準と漁獲制御ルール(平成 14 年度)」を掲載しておきましたので、参照していただきたい。

次回第 48 回談話会は、現在 TAC が問題になっているマイワシについて下記のテーマで平成 16 年 4 月 8 日に開催します。万障お繰り合わせの上、参加してください。

テーマ「マイワシ資源と漁業の現状と資源管理」

(北原 武)